

平成 24 年度 事業者番号 0469 事業所番号 013002

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあっては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
C	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	トーヨーケム株式会社 川越製造所					
事業所所在地	市区町村	埼玉県川越市				
	字・地番	大字中福286番地				
原油換算エネルギー使用量 (kL)	21年度(2009)	22年度(2010)	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)
	7,701	7,642	7,434			
産業分類名(中分類)	化学工業					
分類番号(中分類)	16					
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	事業内容 : 塗料、粘接着剤、合成樹脂、塗工材料及び着色剤に関わる製品の製造 従業員 : 493名				
	延床面積	61,450				m ²

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

削減計画期間		23	年度	~	26	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準排出量に対して削減期間の4年平均で約25%を削減する。				
	その他ガス	平均14年度から16年度の平均排出量に対して削減期間の4年平均で約61%を削減する				
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量 (計画期間合計)	81,780	t-CO ₂			
	削減目標量 (計画期間合計)	5,220	t-CO ₂			
				事業所区分	第2区分	

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算(t-CO₂)

			削減計画期間前		削減計画期間				
			21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)	
エネルギー起源CO ₂		見込		16,200	15,900	15,000	17,800	16,800	
		実績	14,098	14,004	13,364				
非エネルギー起源CO ₂		見込		4,900	4,600	4,400	4,900	4,600	
		実績	2,067	2,025	2,033				
その他ガス	メタン	見込							
		実績	0	0	0				
	一酸化二窒素	見込							
		実績	0	0	0				
	ハイドロフルオロカーボン	見込							
		実績	0	0	0				
	パーフルオロカーボン	見込							
		実績	0	0	0				
	六ふっ化いおう	見込							
		実績	0	0	0				
	温室効果ガスの合計		見込		21,100	20,500	19,400	22,700	21,400
			実績	16,165	16,029	15,397			

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

CO₂換算(t-CO₂/指標)

			削減計画期間前		削減計画期間			
			21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位		見込		0.2300	0.2208	0.2055	0.2225	0.2074
		実績	0.2021	0.1988	0.1989			
活動規模の指標	◎	生産量 (単位)	t/年	69754	70434	67187		
	○	出荷額 (単位)	百万円/年					
	○	従業員数 (単位)	人					
	○	床面積 (単位)	m ²					
	○	()						

4 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量の算定方法

<input checked="" type="radio"/>	過去の実績排出量の平均値	基準年度	平成14～16年度	標準的ではない年度	なし
<input type="radio"/>	排出標準原単位を用いる方法	延床面積		m ²	
基準排出量 (上記の方法で算定したもの)		21,750	t-CO ₂ /年		

基準排出量検証	基準年度検証未実施
---------	-----------

(2) 基準排出量の変更

変更年度		変更理由		変更量	
変更年度		変更理由		変更量	
変更年度		変更理由		変更量	

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
目標削減率	6%

(4) 削減計画期間

23年度から	26年度まで
--------	--------

(5) 年度ごとの状況

		23年度	24年度	25年度	26年度	削減計画 期間合計
基準 排 出 量 等	基準排出量(A)	21,750	21,750	21,750	21,750	87,000
	トップレベル認定					
	目標削減率(B)	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	
	排出上限量 (C = ΣA-D)					81,780
	排出削減目標量 (D = Σ(A×B))					5,220
実績	エネルギー起源CO ₂ 排出量(E)	13,364				13,364
	排出削減量 (F = A - E)	8,386				8,386

5 燃料等使用量及び温室効果ガス排出量

別紙1-1、1-2号

6 温室効果ガス排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

別紙2号

7 過年度における温室効果ガスの推移

別紙3号

8 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

別紙4号

9 目標達成に係る措置(その他ガス排出量の削減及び排出量取引を含む。)の計画及び実施状況

別紙5号

別紙2号 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

C事業所

トーヨーケム株式会社 川越製造所

No	対策の区分		対策名称	実施時期	備考	
	区分番号	区分名称				
		大区分				中区分
1	170300	負荷平準化	17_新エネルギー	廃溶剤を蒸留精製し、副生液を製造。 蒸気ボイラー燃料として併用し、重油削減	平成17年度～	
2	340500	発電専用設備、コージェネレーション設備	34_熱の動力等への変換の合理化に関する措置	コージェネレーションシステムの排熱利用 (蒸気、温水、冷水発生)による重油削減	平成19年度～	
3	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	蒸気配管・バルブ類の保温材補修 ドラム加温槽からの蒸発防止策実施	平成21年度～	
4	329900	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_ボイラー・工業炉・蒸気系統・熱交換器等に係るその他の削減対策	蒸気吸収式冷凍機の温度制御変更による蒸気と電力使用量削減	平成21年度～	夏季のみ蒸気吸収式冷凍機を運転
5	310400	一般管理事項	31_エネルギー使用量の管理	蒸気流量計の設置による蒸気使用量管理 蒸気元バルブ開閉管理による無駄の削減	平成22年度～	
6	360700	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	エアリーク対策とコンプレッサーの効率的稼働	平成22年度～	
7	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	水銀灯・蛍光灯からLED照明への変更	平成23年度～	
8	329900	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_ボイラー・工業炉・蒸気系統・熱交換器等に係るその他の削減対策	蒸気吸収式冷凍機から電気式モジュールチラー方式に更新	平成23年度～	
9	320200	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	クリーンルームの省エネ運転	平成23年度～	
10	360700	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	冷却水循環系統の変更による送水ポンプの稼働率制御	平成24年度～	
11	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	特別高圧受電設備 更新による力率改善	平成24年度～	
12						
13						
14						
15						

別紙3号 温室効果ガスの過年度における推移

(1) 温室効果ガス排出量の推移

事業所番号	013002
-------	--------

C事業所
トーヨーケム株式会社 川越製造所
CO₂換算 (t-CO₂)

		14年度 (2002)	15年度 (2003)	16年度 (2004)	17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
基準年度		○	○	○										
燃料等使用量の原油換算量 (kL)		10,986	11,301	10,989	10,759	10,295	8,870	8,014	7,701	7,642	7,434			
エネルギー起源 CO ₂		21,499	22,171	21,579	21,521	20,403	16,470	14,830	14,098	14,004	13,364			
その他 ガス	非エネルギー起源 CO ₂	11,072	10,473	14,064	7,912	3,664	5,586	5,618	2,067	2,025	2,033			
	メタン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	一酸化二窒素	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	ハイドロフルオロカーボン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	パーフルオロカーボン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	六ふっ化いおう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
合計		32,571	32,644	35,643	29,433	24,067	22,056	20,448	16,165	16,029	15,397			

(2) 温室効果ガス排出量原単位(エネルギー起源CO₂)

CO₂換算 (t-CO₂/指標)

			14年度 (2002)	15年度 (2003)	16年度 (2004)	17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)	
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位			0.3028	0.3036	0.2764	0.2810	0.2735	0.2126	0.2172	0.2021	0.1988	0.1989				
活動規模 の指標	●	生産量 (単位)	t/年	71011	73028	78063	76599	74610	77468	68268	69754	70434	67187	0	0	0
	○	出荷額 (単位)	百万円/年								0	0	0	0	0	0
	○	従業員数 (単位)	人								0	0	0	0	0	0
	○	床面積 (単位)	m ²								0	0	0	0	0	0
	○	()									0	0	0	0	0	0

別紙4号 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

C事業所

(※希望者のみ記載)

トヨーケム株式会社 川越製造所

自由記述欄

1. ISO14001の取得

当工場では、1997年2月にISO14001を認証取得し、エネルギー使用量の削減、地球温暖化対策や廃棄物の削減などに取組んでいます。

また、製品面でも水性化、脱VOC、脱塩化ビニル、リサイクル性を考慮した環境調和型製品の開発を行っております。

2. 社会・環境活動報告書

1999年より、社会・環境活動報告書を作成し、事業活動を開示しております。

<http://schd.toyoinkgroup.com/ja/csr/reports/backnumber.html>

3. 環境コミュニケーション

当工場では、地域住民の方々の化学物質、排出ガス、排水処理、省エネ対策、土壌改良、安全管理体制 等に対する不安を解消する様、埼玉県では先駆けて2002年より毎年実施しております。昨年は、行政(埼玉県、川越市)の方々も交え意見交換を行い、埼玉県のHPでも紹介されております。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/site/kankyou-communication/kc-jirei.html>